1・23 12じ 正門 全学集会

◦金大中氏死刑阻止！　日韓連帯！　◦学費・治安管理攻撃粉砕！

◦侵略・抑圧と斗う自己建！　◦1・29 代々木勝利！

全ての学友・教職員のみなさん！　首相鈴木の、日本をアジアの盟主たらしめんとするASEAN諸国訪問、軍事力を強化して「強いアメリカ」を復活させると宣言したレーガンの大統領就任(1・20)と、日米帝国主義の自己延命策は、侵略という形をとって現れてきている。

同学会は昨年来より、侵略・抑圧に抗し斗うという視点から、一貫して「日韓連帯！金大中氏死刑阻止！学費値あげ・管理攻撃粉砕！」を掲げ斗ってきた。そして今、我々は更に強固にこの斗いをくりひろげてゆかねばならない。その意志表明の場として、そして全ての諸君への連帯の呼びかけとして、23日金大中氏死刑阻止をメインに掲げた全学集会を提起する。

金大中氏死刑阻止！　学費値上げ・学内管理・強化攻撃粉砕！

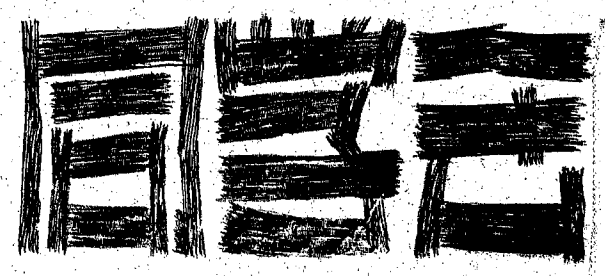
昨年来動を続けている日韓情勢は、今また新たな展開を見せている。韓国の新しい与党「民主正義党」は、15日の党大会で、全斗煥を同党の大統領候補・党総裁に選出した。(大統領選挙は2・25)。これはまさに軍事独裁政権の完成・長期延命策の偽善的な手段に外ならない。我々は今までの斗いに満足することなく、更に強固な日韓連帯・金大中氏死刑阻止の斗いを進め、日帝の韓国新植民地支配を打破する行動を持続的に行なってゆかねばならない。今こそ「連帯」を語る我々の連帯の質・真価が問われているのだ。

そして、侵略にむけた国内再編のために、資本－国家権力が我々学生にかけてくるのが、学費値あげ、学内治安管理強化といった教育再編攻撃である。学費値上げは、単に大衆収奪強化というだけにとどまらず、受益者負担イデオロギー、そして教育の差別・選別の強化・学生管理として存在する。それゆえ我々は、現在学園にかけられてきている寮廃化・立看撤去等の管理強化と一体となった大学再編攻撃として学費値あげをとらえ、実力斗争をも含む、本質をついた大衆運動を構築しなければならない。

1・29 代々木勝利！侵略・抑圧と斗う自己建！

以上のように我々は、金大中氏死刑阻止　学費値あげ－管理強化攻撃に対し、有効に反撃することから真の自治を見出してゆかねばならない。とりわけ教養部においては、代々木の諸君の提起している教養部代議員大会を成功させ、教養生5000人の声を力に変え、ストに決起することが重要である。

しかるにニセ「自」－日共－民青は、70年代自をギッチあげて以降、気に入らぬものは権力に売るという告訴－告発路線をとる一方、諸要求路線という大衆運動をくりひろげている。日韓についても「日本を韓国のような国にするな」と排外主義煽動を行なっている。16日の彼らの代大が全くの自己破産をとげた事でも彼らの無責任方針は露呈されている。それゆえ我々の緊急の課題は、侵略－抑圧と斗う自己を再建し、真の教養部自治を再構築することである。

1・23全学集会に結集せよ！

我々は以上の観点より、1月23日12じより、教養部正門前で「金大中氏死刑阻止！学費値あげ－管理攻撃粉砕！侵略・抑圧と斗う自己再建！1・29 代々木勝利！」を掲げて全学集会を行なう。全ての学友諸君がこの集会に結集され、ともに斗われんことを訴える。